

## 計画・実施・評価・改善をサイクルとして

田川市教育委員会 教育長 小 林 清

昨年4月に田川東中学校、田川西中学校が開校しました。前年度の学校説明会でも、より良い教育を実践していくため、6つの目標について述べてきましたが、両校とも教育目標をかけた、学校長のリーダーシップの下、全教職員が団結して学校運営に取り組んでいます。

### 6つの目標

- (1) 活気あふれる学校づくり
- (2) 個性を伸ばす風土づくり
- (3) 高い専門性を育む体制づくり
- (4) 柔軟な指導体制づくり
- (5) 教員と子どもの向き合う時間を確保する体制づくり
- (6) 教育活動を充実させる人材の活用

### 教育目標

- 田川東中学校  
人生を切り拓く力と自他を大切にすることをもち、自ら社会に参画できる生徒の育成
- 田川西中学校  
高い志をもち未来を創造する生徒  
～自立する・共生する・創造する～

7校が2校に統合されてスタートした新中学校も、それぞれで特色ある取組が行われており、生徒同士のつながりも強くなっています。中学校では、近い将来必ず必要になる「社会的自立」に向け、生徒自らが立案する取組がとても重要ですが、文化発表会や体育大会といった学校行事など、生徒主体の行事が実施できました。部活動においても、

田川東中学校の放送部がNHK全国中学校放送コンテスト映像部門で2位を獲得し、村上市長へ表敬訪問を行いました。また、田川西中学校野球部は、新人戦において県大会出場と目覚ましい活躍がみられます。

しかし、全員が学校再編の経験のない中での一年目の取組。様々な教育活動において、想定していない場面に遭遇することも起きました。生徒指導上の問題も発生しています。学校では、教育相談など生徒一人ひとりの気持ちに寄り添う支援とともに毅然とした対応も併せて行っています。

教育委員会も学校長との会議を継続して実施し、今年度の取組に対する課題から次年度の教育活動の必要事項の予算化を図っています。複雑化する生徒指導上の問題への対応力強化のため、サポートスタッフの配置も検討しています。

しかし、現在の課題は学校だけで解決できるものではありません。学校と家庭・地域の連携、協働の取組が必要です。そこで、教育委員会では、現在、学校と地域が目指す子ども像等の目標やビジョンを共有し、一緒に子育てを行う仕組みである「コミュニティ・スクール」を全校に導入することを進めています。皆様も学校にご協力いただき、協働して地域の子どもの課題に取り組むコミュニティ・スクールに参画いただきたいと思います。

これからも小学校並びに猪位金学園も併せ学校の新しい文化の創造を目指し、学習指導、生徒指導をより充実させてまいります。皆様におかれましては、何卒、学校へのご協力をお願いします。





# 小学生も中学生も



# 「表現力」・「発信力」がLevel Up!!

## 第3回 田川市自由研究プレゼンテーション大会

(令和5年9月30日)

田川市では、情報活用能力（情報収集力・情報整理力・情報発信力等）の育成をめざして、令和3年度からプレゼン大会を開催しています。今年度は、市内小学校から16組の児童が参加し、夏休みに取り組んだ自由研究や学校で学習したことを自作のスライドを用いて発表しました。自分が調べたことを堂々と発信したり、聞き手に分かりやすく伝えるように身ぶり手ぶりを加えて表現したりする姿からは、「自分の考えをしっかりと伝えたい」という熱い思いが伝わってきました。

中村学園大学の山本朋弘教授からは、「年々子どもたちのプレゼン力が高まっていますね。」と高評価をいただきました。



▲山本教授

## 第6回 中学生英語スピーチコンテスト田川市大会

(令和5年10月27日)

田川市では、グローバル社会で活躍する人材の育成をめざして、平成30年度から英語スピーチコンテストを開催しています。今年度は、市内中学校から12名の生徒が参加し、「課題の部（あらかじめ決められた英作文）」や「自由の部（自分でつくった英作文）」において、表情豊かに英語でスピーチをしました。スピーチ後には審査員と英語でやりとりするなど、英語におけるコミュニケーション能力の高まりを感じました。

青山学院大学の飯田敦史准教授からは、「英語の発音やイントネーションが上手なだけでなく、Attitude（伝える意欲・態度）がすばらしいですね。」と高評価をいただきました。



▲飯田教授

# 「少年の主張」田川市大会を 開催しました

令和5年11月11日に田川青少年文化ホールで「少年の主張」田川市大会を開催しました。  
この大会は、中学生に物事を考える力や広い視野を養ってもらう目的で始まり、今年で37回目の開催となりました。



猪位金学園放送部<sup>たしろしおり</sup>田代詩織さんの進行のもと、市内3中学校から選ばれた7名の代表者それぞれが自身の体験をもとに、自ら考え、今後の人生にいかしていく思いなどを自分の言葉で発表しました。最優秀賞を田川西中学校の内陽愛里さん、優秀賞を田川東中学校の毛利羽希さんが受賞し、令和6年2月18日(日)開催の田川区大会に出場します。



田川西中学校 2年生 内 陽愛里さん

## つながる心を目指して ～私にできること～

内さんは、家族が受けた差別やニュースで報じられるコロナ禍における偏見から、「人は自分の知らないことや関わりが無いことに対して偏見や差別心を持ってしまう」と気づきました。その上で人との関わりを大切に、意識を変えるために学ぶことで、偏見を持っていた人とも心がつながり、『差別』や『偏見』という壁を取り除くことができるのではないかと主張しました。



田川東中学校 2年生 毛利 羽希さん

## 自分のために、そしてみんなのために

毛利さんは、他者が感情に動かされている姿を見て自分も感情が感染してしまう「情動感染」という言葉をお母さんに教えてもらいました。言葉を知った際、文化発表会での経験を思い出し、ネガティブな感情ほど人に伝染しやすいのではないかと考えました。その考えに対し自分のために、そしてみんなのために「一生懸命頑張ろう」と一人ひとりがポジティブな気持ちを持ち、意識して少しずつでも行動に移すことができれば、情動感染で感情が広がるように団結できるクラスになるのではないかと主張しました。



## 聴いて歌って奏でて 音楽で田川に元気を!

令和5年11月3日に第39回こども音楽祭を開催しました。出演者はそれぞれ日頃の練習の成果を十分に発揮し、会場に素敵な音色や歌声を響かせました。初出演となった福岡県立大学生の歌声に、観客もうっとりした様子でした。

また、今年度は4年ぶりに出演者全員で「Believe」の合奏・合唱も行い、会場がきれいな歌声やあたたかい手拍子でつつまれました。

令和6年度も11月に開催予定です。記念すべき40回目のこども音楽祭と一緒に楽しみませんか。



## カルタ大会を 開催しました!



令和5年12月3日に第25回田川市子どもカルタ大会を開催しました。

19チーム97人が参加し、この日のために練習を重ね、一丸となって優勝を目指しました。

今年度優勝したRUSH田川など上位8チームが令和6年1月28日に開催の筑豊ブロック子どもカルタ大会に出場しました。



## 新中学1年生に入学準備金を交付します!

少子化が進展するなか、社会全体で子育てを支援し、安心して子どもを産み育てやすい環境整備の一環として、中学校への入学時における家計負担の軽減を図るため、令和6年度に中学校に進学する児童に入学準備金を交付します。なお、交付方法等の詳細は、対象者へ通知します。

また、田川市ホームページにも詳細を掲載しています。

●**交付対象者**：田川市に住民票があり、令和6年度に中学1年生となるお子様がいる家庭  
※生活保護・就学援助を受給する場合は、支給内容に入学準備金相当の費用が含まれているため対象になりません。

●**交付額**：1人あたり5万円

●**交付予定日**：3月29日(金) ※市外中学校に進学する場合は、4月以降となります。

問い合わせ 田川市教育委員会 教育総務課 (☎85-7165)

これまでの記事につきましては、ホームページにてカラー版を掲載しています。

